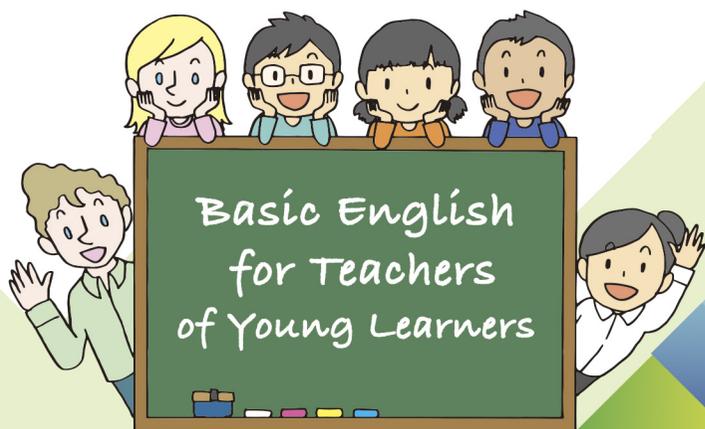


Basic English for Teachers of Young Learners

Emiko Izumi
Reiko Tada
Yoshitaka Tanabe

Kazumi Ogawa
Yumiko Kitamura
Tomoko Saito
Naomi Chiba
Akiko Fukihara
Mai Matsunaga
Aki Matsunobu



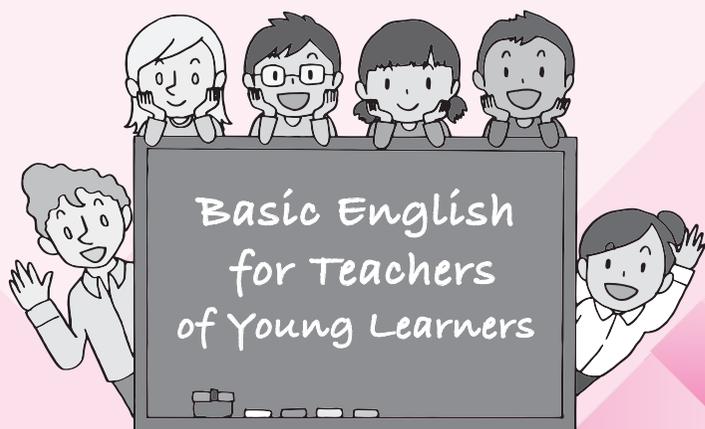
Asahi Press

審査用見本

Basic English for Teachers of Young Learners

Emiko Izumi
Reiko Tada
Yoshitaka Tanabe

Kazumi Ogawa
Yumiko Kitamura
Tomoko Saito
Naomi Chiba
Akiko Fukihara
Mai Matsunaga
Aki Matsunobu



音声再生アプリ「リスニング・トレーナー」を使った 音声ダウンロード



朝日出版社開発のアプリ、「リスニング・トレーナー（リストレ）」を使えば、教科書の音声をスマホ、タブレットに簡単にダウンロードできます。どうぞご活用ください。

● アプリ【リスニング・トレーナー】の使い方

《アプリのダウンロード》

App StoreまたはGoogle Playから
「リスニング・トレーナー」のアプリ
(無料)をダウンロード

App Storeは
こちら▶



Google Playは
こちら▶



《アプリの使い方》

- ① アプリを開き「コンテンツを追加」をタップ
- ② 画面上部に【15689】を入力しDoneをタップ

音声ストリーミング配信》》

この教科書の音声は、
右記ウェブサイトにて
無料で配信しています。



<https://text.asahipress.com/free/english/>



Basic English for Teachers of Young Learners

Copyright © 2022 by Asahi Press

All rights reserved. No part of this publication may be reproduced in any form without prior written permission from the author and the publisher.

はしがき

昨今、情報化やデジタル化、AIの導入などが加速度的に進み、世界がつながるグローバル時代において外国語によるコミュニケーションは不可欠です。そのような中、諸外国では外国語教育が低年齢化しており、日本でも2021年度より改訂版『小学校学習指導要領（平成29年告示）』が完全実施となり、小学校高学年で「外国語」が教科となりました。また、中学年で「外国語活動」が導入されるなど、英語教育の教科化、早期化とともに、低学年から外国語活動を実施する学校も増えております。さらに、幼稚園でもインターナショナルスクールのみならず、遊びの中で英語に触れる時間を取り入れるところも多く見受けられます。幼児や小学生など、耳がよく、心が柔軟で、好奇心旺盛かつ適応力を備えている頃に、異言語や異文化に触れさせ、意味のある文脈の中で、外国語の音声を聞き取らせたり、自分の思いや気持ちを互いに伝え合ったり、音から文字につなげるといった英語指導は益々重要になると思われます。しかしながら、児童の特徴を踏まえ、英語を用いて幼児や児童に英語を指導できる教員がまだまだ少ないといった現状があり、将来英語を担当できる指導者の養成が急がれております。

本書は大学や短期大学の教職課程などにおいて、幼児や児童を対象とした英語教育を学ぶ大学生を主たる対象として、幼稚園や小学校で英語を教える際に必要と考えられる、英語運用能力の向上や基礎的な知識の涵養をねらいとしたテキストです。1年を通じた使用を想定して作成しておりますが、半期16回の授業用テキストとしてご活用いただくことも可能です。同じ登場人物のもと、幼稚園から小学校高学年まで、実際の教室での活動場面を思い浮かべながら、学習者と指導者の両方の立場で学べる展開になっている画期的なテキストです。

なお、本書を活用することで、主に次の4つができるようになることが期待されます。

- ① 幼児・児童が学ぶ語彙や表現、歌やチャンツ、絵本、クイズ・ゲーム、言語活動などを知り、体験的な学習を通して、自ら活動を設計したりできるようになる。
- ② 幼児・児童の前で、授業を始めたり、ALTとスモールトークをしたり、活動の指示や説明をするなど簡単な教室英語を学び、使えるようになる。
- ③ 既習の簡単な文法事項を復習したり、英語の音声変化や発音、フォニックスの基本を確認し、正しい音声を身に付けたりすることができる。
- ④ 幼児・児童英語や教授法、異文化理解などに関する読解教材を読むことで、基礎的な知識を得ると同時に、英語の4技能を伸ばすことができる。

執筆者は全員、実際に幼児や児童に英語を指導した経験を有したり、大学の教員養成課程で授業を担当したりするなど、児童英語の理論と実践の両面に精通しており、『小学校学習指導要領』や文部科学省の共通教材・検定教科書なども参考に、議論を繰り返し完成しました。将来英語を教えることをめざす学生はもちろん、児童英語または広く英語学習に興味のある多くの方、また彼らを指導される先生方に本書をご活用いただき、楽しく英語によるコミュニケーションを行いながら、児童英語教育についての知識を広げ、英語運用能力がつくことを切に願っております。ぜひ一度お使いいただき、忌憚のないご意見を頂戴できれば幸いです。

最後に、本書刊行の機会を与えていただきました朝日出版社様にお礼を申し上げたいと存じます。とりわけ、朝日出版第一編集部朝日英一郎様には、企画段階から刊行に至るまで、多大なるご尽力を賜りました。また、近畿大学のTorrin Shimono先生には丁寧に何度も英文校正をしていただきました。その他、音声収録、イラスト、編集など、多くの方のご参画とご協力により本書が完成したことに心より感謝し、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

編著者 泉恵美子、多田玲子、田邊義隆

本書の構成と使い方

本書は全16ユニットで構成しており、各ユニットにおいて日本人教員とALT（外国語指導助手）がティーム・ティーチングで授業を展開します。学生のみなさんが外国語（英語）の指導に求められる4技能の向上を図りつつ、各ユニットのトピック（題材）に関連した言語材料や言語活動を体験的に学ぶこともできるよう工夫されています。また、学習に取り組む際には各ユニットの場面設定にも着目してください。Unit 1は幼稚園での実践から始まり、Unit 16は小学校高学年の授業で終わります。各ユニットに取り組むにあたり、対象学年と教員の設定、各セクションの内容とねらいを念頭に置いたうえで学習を進めてください。音声を用意してあるセクションには🎧のアイコンがついていますので、自習の際には下記URLにアクセスして、積極的に活用してください。

◆音声ファイル（ダウンロード/ストリーミング）：<https://text.asahipress.com/free/english/>

◆対象学年と教員の設定

Unit	1-3	4-6	7-11	12-16
対象	幼児	小学校低学年	小学校中学年	小学校高学年
設定	 加藤 りか 未来小学校2年生の学級担任。隣接するつばさ幼稚園にも、ゲストティーチャーとして訪問している。	 Jack Davis カナダ出身のALT。学生時代から教育全般に関心があり、他国の教育事情を体験するために来日を決意。	 尾木 圭 未来小学校の外国語（英語）専科。よりよい外国語教育を目指して、指導法や教授法を研究中。	 Tracy Brown ジャマイカ出身のALT。異文化間コミュニケーションに精通していて、日本文化にも興味がある。

◆各セクションの内容とねらい

Keywords and phrases

各Unitの内容を理解するうえで必要な語句を取り上げています。まずはそれぞれの語句の意味が分かり、発音できるかどうか自己診断したうえで、実際に音声を聞いて確認しましょう。

Pronunciation and prosody

英語の発音とプロソディ（音声の特徴）を意識して発音練習に取り組むセクションです。日本語話者が混同しがちな音の違いや強く発音される音節に注意して練習し、さらに英語らしく発話するための知識も整理します。

Listening 1

当該ユニットのトピックに関連した英語表現（キーセンテンス）を、教室で2名の先生が導入します。その授業場面を思い浮かべながら聞きましょう。Step 1で会話の概要理解に努め、Step 2ではそこで使用されているキーセンテンスを書き取ります。Step 3ではWord Bankを参考にしながら、キーセンテンスを使用した初歩的なペア活動を体験します。

Listening 2

2名の先生がティーム・ティーチングの打ち合わせの際に、授業内容に関連した事柄や文化などについて話している場面です。会話で使用されている英語は、幼児や児童に聞かせることを想定したListening 1の基礎的なものとは異なります。リスニング（空所補充）とリーディング（正誤問題：T/F）の両面から内容把握に努めましょう。

Reading

当該ユニットのトピックに関連した専門的知識について、200語程度の文章を読みます。語彙力や読解力の向上に取り組みながら、指導法や教授法に関する基礎的な知識を身に付けることもできます。意味を理解した後、音読やシャドーイングを行いましょう。

Grammar Check

文法の基礎知識を復習するセクションです。各ユニットの文法項目につき、理解の曖昧な点がないか確認し、各問いの根拠を自分の言葉で説明できるように取り組みましょう。

Activity

当該ユニットのトピックに関連した言語活動を体験します。ゲーム、インタビュー活動、チャンツの創作など、Listening 1で練習した英語表現（キーセンテンス）を使用して言語活動を楽しみましょう。その際、活動を設計する指導者と、活動を体験する幼児・児童の両方の視点を持って取り組むとよいでしょう。

Teaching Tips / Tips for Good Interaction

幼児・児童を対象とした外国語（英語）教育を実践するうえで参考となる情報や、やりとりに役立つヒントを、各ユニットのトピックに関連づけて短くまとめています。

Classroom English

授業中に指示を出すうえで知っておきたい英語表現です。模擬授業などの際にも積極的に使えるように、機械的に表現を覚えるだけでなく、使用場面を思い浮かべながら音声を聞き、声に出して何度も練習しましょう。

Let's try it out!

当該ユニットのトピックを扱った発表活動を行い、そのトピックに関する知識や理解を深める発展学習です。発表方法や内容に自分なりの工夫を加え、クラスメイトと共有しましょう。

目次 Contents

ユニット | タイトルおよび各ユニットのめあて

ページ

Part 1 幼児のための英語

1 Hello! 2

1. 表情やジェスチャーにも気をつけながら自己紹介ができる。
2. 感情をテーマにした歌を、表情やジェスチャーを工夫して歌うことができる。
3. 幼児の発達段階に合った歌を選択し、表情や動作をつけて歌うことができる。

2 Numbers and colors 8

1. 数字を扱ったゲームを英語で進めることができる。
2. 数をテーマにした歌を歌い、幼児と遊ぶ工夫を考えることができる。
3. 幼児の発達段階に合った数や色をテーマにした歌を選択し、動作をつけたり視覚教材を用いながら歌ったりすることができる。

3 Let's play! Let's move! 14

1. ジェスチャーや表情を使った活動を英語で進めることができる。
2. 英語圏の子どもの遊びを知り、活動を英語で進めることができる。
3. 幼児の発達段階に合った英語の歌を選択し、動作をつけて歌うことができる。

Part 2 小学校低学年のための英語

4 Quiz show 20

1. わからないものや、色や形を尋ねたり答えたりすることができる。
2. 尋ねたり答えたりする表現を使って漢字クイズを出し合うことができる。
3. さまざまなクイズを考えてクイズ大会をすることができる。

5 I like fruit. 26

1. 好きな食べ物や嫌いな食べ物を尋ねたり答えたりすることができる。
2. 野菜が植物のどの部分であるかなど、理科の学習と英語学習を関連づけることができる。
3. 好きな果物を用いてフルーツサラダを作り、発表することができる。

6 Reading a picture book

32

1. 自分のペットや飼ってみたい動物のできることを伝え合うことができる。
2. 動物の特徴を考え、チャンツを言ったりクイズを作ったりすることができる。
3. 実際に絵本を選び、読み聞かせをすることができる。

Part 3 小学校中学年のための英語

7 Do you have a pencil?

38

1. 教室で使用する文具の所有について、尋ねたり答えたりすることができる。
2. 自分の所有している文具がどこにあるか伝えることができる。
3. 自分の大切な持ち物について紹介することができる。

8 What subject do you like?

44

1. どの曜日にどの教科を学習するかを尋ねたり答えたりすることができる。
2. 好きな教科を尋ねたり答えたりすることができる。
3. 外国の小学校の時間割を調べ、発表することができる。

9 My favorite place

50

1. 学校のお気に入りの場所を伝え合ったり、案内の表現を使ったりすることができる。
2. 自分が気に入っている地域の場所を伝えたり、世界と日本の道路標識の共通点や相違点などを考えたりすることができる。
3. 自分のお気に入りの場所を理由をつけて伝え、道案内をすることができる。

10 Let's help our family!

56

1. 家事を表す表現を使うことができる。
2. 日常生活や趣味の行動を頻度を表す副詞を使って表現することができる。
3. 理想のお手伝いロボットを考えて発表することができる。

11 Let's celebrate!

62

1. 月行事の日付や各行事の内容を簡単に説明することができる。
2. 誕生日に関する質問をしたり答えたりすることができる。
3. 世界のおもしろい年中行事を紹介することができる。

12 She can skateboard. He can play the trumpet. 68

1. 自分や第三者のできることやできないことを、聞いたり言ったりする表現を使うことができる。
2. インタビューをもとに、クラスの友だちの得意なこと、不得意なことを、考えを含めて伝えることができる。
3. 自分が憧れていたり、応援したい人物を紹介することができる。

13 Ordering food at a restaurant 74

1. 欲しいものを丁寧に伝える表現を使うことができる。
2. 家庭科で学習した栄養素の知識を生かしてチャントを作ることできる。
3. 栄養バランスのよいメニューを考えて発表することができる。

14 Welcome to Japan 80

1. 日本の四季折々の行事や食べ物、日本の文化を紹介できる。
2. 社会科の知識を活用して都道府県についてクイズを作成し、やり取りができる。
3. 伝統文化や行事、社会科で学習した特産物などを用いて都道府県を紹介できる。

15 How was your summer vacation? 86

1. 夏休みにしたことと自分の気持ちを尋ねたり答えたりすることができる。
2. 夏休みにしたことについて書かれた英文を読んで質問し、書いた人を見つけることができる。
3. 夏休みにしたことと自分の気持ちを、児童用の絵日記とALT用の日記に書くことができる。

16 What do you want to be? 92

1. 将来つきたい職業とその理由を伝える表現を使うことができる。
- 2.好きなことや関心のあること、できることを尋ね、将来の職業を提案することができる。
3. 世界の子どもの夢について知ったことと自分の考えをALTに伝えることができる。



Basic English
for Teachers
of Young Learners

備查用免本

Hello!

英語を初めて学ぶ幼児にとって、教師の表情・ジェスチャーや視覚教材は言葉を理解する大きな助けとなります。この単元では、このような言語以外の要素にも気をつけて自己紹介をしたり歌を歌ったりします。



このUnitのめあて

1. 表情やジェスチャーにも気をつけながら自己紹介ができる。
2. 感情をテーマにした歌を、表情やジェスチャーを工夫して歌うことができる。
3. 幼児の発達段階に合った歌を選択し、表情や動作をつけて歌うことができる。

Keywords and phrases



CD1: 2

Step 1 自己診断しましょう。意味の分からない語句は、辞書で調べてメモしましょう。

Step 2 音声を聞いて、発音を確認しましょう。

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> consideration [kənsɪdə'reɪʃən] | <input type="checkbox"/> self-introduction [self ɪntrədʌkʃən] |
| <input type="checkbox"/> kindergarten [kɪndərgɑ:rtɪn] | <input type="checkbox"/> verbal [vɛ:rbəl] |
| <input type="checkbox"/> lyrics [lɪrɪks] | <input type="checkbox"/> be conscious of |
| <input type="checkbox"/> present (v.) [prɪznt] | <input type="checkbox"/> be in charge of |
| <input type="checkbox"/> pronunciation [prənʌnsi'eɪʃən] | <input type="checkbox"/> be related to |
| <input type="checkbox"/> rhythm [rɪðm] | <input type="checkbox"/> major in |

Pronunciation and prosody



CD1: 3-5

1. アルファベットの名前を正しく発音しましょう。

A a [éi] **B b** [bí:] **C c** [sí:] **D d** [dí:] **E e** [i:] **F f** [éf] **G g** [dʒí:]
H h [éitʃ] **I i** [ái] **J j** [dʒéi] **K k** [kéi] **L l** [él] **M m** [ém] **N n** [én]

2. 強く発音される音節はどこか注意して、発音しましょう。

re-search-er com-mu-ni-cate in-tro-duce wel-com-ing

3. 内容語に着目して、強く長く発音するように意識して読みましょう。

- (1) My name is Jack Davis. (2) Please call me Jack.
 (3) I'm happy to meet you.

Listening 1



CD1: 6

つばさ幼稚園で英語の時間が始まります。初めて出会った加藤先生とALTのDavis先生は自己紹介をしています。

Step 1 音声を聞いて、内容に合うものを選び、記号に○をつけましょう。

1. Mr. Davis is from (a. the U.S. b. Canada).
2. Mr. Davis likes pancakes with (a. butter and syrup b. blueberries and whipped cream).
3. (a. Hamsters b. Rabbits) are Ms. Kato's favorite animals.

Step 2 もう一度音声を聞き、会話の中で使われているキーセンテンスに着目して、次の英文の空欄を埋めましょう。

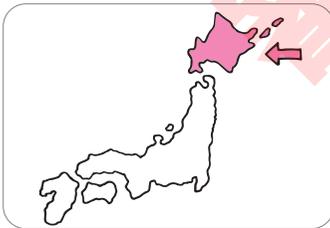
I'm () Canada.

I () ed) () education.

I () children very much.

Step 3 Step 2の英文とWord Bankを参考にして、ペアで自由に自己紹介をしてみましょう。

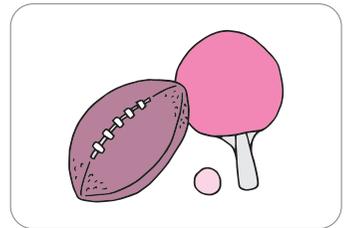
Word Bank



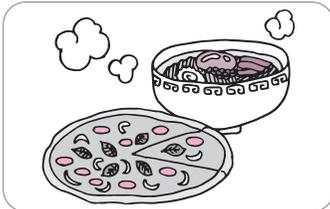
hometown



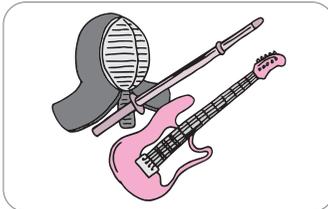
birthday



sport



food



club/team



dream

Listening 2



CD1: 7

加藤先生とJackが幼児に英語を聞かせる際に大切な点について話しています。

Ms. Kato: I like your big smile, Jack. I'm sure it'll make the children
(①) safe and happy. They'll like you a lot.
Then, they can learn new things from you. You also use lots of
(②) when you talk. Using gestures helps children
(③) what you are saying.

Jack: Thank you. I'll (④) with more gestures to young children. Gestures, facial expressions, eye contact, body language are nonverbal. Experts say that nonverbal communication often carries just as much meaning as words. I'm (⑤) of those nonverbal elements to have better communication.

Ms. Kato: I'm glad to hear that. Young children also need (⑥) aids to understand what they hear in English.

Jack: I see. When I introduce myself in class, I'll show the children a
(⑦) to explain my home country, Canada.
I'll (⑧) some photos of my pets. Maybe I can make some quizzes about my favorite things using gestures.



Ms. Kato: That sounds exciting.

A. 音声を聞いて、() に適語を入れましょう。

B. 以下の英文を読んで、聞いた内容と合っていればT、異なっていればFを解答欄に書きましょう。

1. Jack does not smile when he talks.
2. Teachers' smiles help children feel safe and happy.
3. It is said that verbal communication is the main way people transmit messages.
4. Young children need lots of visual aids when they listen to English.
5. Jack is going to bring a map and some photos to the classroom which help the children's understanding.

1

2

3

4

5



Using songs in classroom

Why don't you start your first class with a self-introduction song? Music and songs can make learning a new language easier and more fun for young learners.

There are many reasons why teachers should be using more songs in class. First, songs can create a positive and welcoming environment in the classroom when children are feeling anxious about a new language. Second, young learners enjoy singing and moving their bodies to music, and using songs is a group activity where children of all language levels can enjoy. For instance, beginner level students can start with gestures or dances while advanced students can improve their pronunciation and intonation. Third, in a similar vein, songs are particularly good for improving students' oral skills. Singing and listening to songs allow learners to acquire more natural English with proper pronunciation, intonation, and rhythm.

When choosing songs for young learners, teachers should select ones that have simple and repetitive lyrics, and that are related to topics students are learning in class. It is also important to choose songs that have movements for learners to enjoy singing along with. As you can see, classroom with English songs provides young learners with a warm atmosphere and excellent English learning opportunities in a fun and more memorable way.

A. 以下の定義に合う単語を本文中に探しましょう。動詞は原形で、名詞は単数形で書きましょう。

1. [動詞: 第2段落] to get pleasure from something
2. [副詞: 第2段落] especially or more than usual
3. [名詞: 第3段落] the feeling or mood that a place or situation gives you

1

2

3

B. 本文の内容に合うものを選び、□に✓を入れましょう。

- 1. Music and songs hinder young students from learning a new language in easy and fun ways.
- 2. Young learners are free from stress when they learn a new language.
- 3. Learners of any language level can enjoy learning through songs.
- 4. Learning through songs can help students to improve their oral skills.
- 5. Teachers should choose songs which require students to sit still and sing.

Grammar Check

時制（現在、過去、未来） 日本語と英語で異なる時制の感覚

()内の適切な選択肢を選んで、英文を完成させましょう。

1. My homeroom teacher usually (walks / is walking) fast, but he (walks / is walking) very slowly now.
2. Don't forget to give us a call as soon as you (get / will get) home.
3. When the teacher entered the classroom, a group of students (talked / were talking) about her.
4. I (hear / am hearing) we have a new ALT this week.
5. I (will teach / will be teaching) English at this time tomorrow.
6. I (would / was going to) study hard last night, but I soon fell asleep.

Activity

♪ If You Are Happy and You Know It

If you are happy and you know it, clap your hands.

If you are happy and you know it, clap your hands.

If you are happy and you know it, then your face will surely show it.

If you are happy and you know it, clap your hands.

1. 「幸せなら手をたたこう」の英語版です。この動画をインターネット上で検索し、視聴しながら歌いましょう。歌詞の意味に合う表情や動作をつけて歌ってみましょう。
2. 下線部を以下の形容詞に変え、破線部にはそれらの形容詞に合う動作を英語で書きましょう。作り替えた歌詞の意味に合う表情や動作をつけて歌いましょう。

happy clap your hands
.....

(1) sad

(2) angry

(3) tired

Teaching Tips

コミュニケーションを図る際、言葉以外の手段でも相手にメッセージを伝えることが重要です。これは非言語コミュニケーション(**nonverbal communication**)と呼ばれ、身体動作、身体特徴、空間の使い方など多くの種類があります。幼児や児童対象の英語教育では、特に、身体動作の具体的内容である、表情、まなざし、ジェスチャー、声のトーンを大切にします。さらに、英語の意味を視覚教材で示すことも「内容やメッセージを伝える」うえで有効なので、大いに活用します。表情やジェスチャーを豊かにしたり視覚教材を工夫したりするように心がけましょう。

Classroom English



日本語に合うように、() に適語を書き入れましょう。

1. 英語の授業を始めましょう。

It's () () English Class.

2. 歌を歌いましょう。

Let's () a ().

3. 私を見て真似をしてください。

() and () me.

4. ペアになりなさい。

() pairs.

5. よくできました。

You () a good ().

6. 今日の授業はここまでです。

That's () () today.

Let's try it out!

幼児の発達段階に合ったあいさつの歌や感情を表す歌の動画をインターネット上で探し、その歌の内容に合わせて表情や動作をつけて歌えるようになりましょう。視覚教材を用意して、クラスで発表しましょう。なぜその歌を選んだのかも英語で伝えましょう。

